

『令和2年度札幌市文教施策に関する要望書』に対する「意見交換会」の報告

2019年度 札幌市PTA協議会 総務委員会

2019年12月17日 9時30分より、札幌市教育委員会において、長谷川教育長より『令和2年度札幌市文教施策に関する要望書（10月25日に札幌市PTA協議会より札幌市教育委員会に提出）』に対する「回答書」を札幌市PTA協議会 土田会長に手交していただきました。

その後、教育委員会の担当者から補足説明があり、それに対して各総務委員とで意見交換を行うという形式で進めました。今回も、質問領域によって2部制に分けて意見交換を行ったので、より近い距離での話し合いをすることが出来ました。

回答内容は「回答書」で確認してください。意見交換会での質問と回答については次の通りです。

(1) 学校教育に関して

【教職員及び少人数学級に関して】

PTA)

小学校3,4年生までの35人学級に向けて検討していただけるとのご回答、ありがとうございます。専科指導の加配に関しましても「令和2年度は52人を要望中」と大変ありがたいご回答を頂きましたが、この先の見通しとして加配定数は増えていくのでしょうか。万が一、要望の人数に満たない場合や今後の体制等、具体的に決まっていることはありますか。

回 答)

令和2年度におきまして国におきましては小学校を行っていくとなっておりますが来年度何人分の加配定数になるかは年度末の国からの通知があるまでは大変申し訳ありませんがはっきりしない状況となっております。また、令和3年度以降の動向につきましては現段階では国から示されておられません。

今後も引き続き様々な機会を設けて国に要望してまいりたいと思います。

【英語教育に関して】

PTA)

専科の加配について、具体的な方法はありますか？当面は数校を1人の専科が巡回で見る感じでしょうか？具体的に、1人のALT・専科教員が何校位受け持つのでしょうか？

回 答)

今年度は小学校99校に対して、25名専科教員が配置されております。25名が、1人2~4校兼務しており、60校で指導しております。又、各校独自で指導を行っている

る学校もございます。

小学校 ALT に関しましては、1 人の ALT の受け持つ学校数は 5～10 校程度となっております。今後も各学校が子どものコミュニケーション能力向上に取り組んでまいりたいと、考えております。

【スクールカウンセラー】

P T A)

一昨年のご回答で「再来年までに、小学校へ週に 1 回配置したい」といただきましたが、来年がその「再来年」になるかと思えます。現状と今後の見通しについて教えていただきたいと思えます。

回 答)

小学校へ今年度は、昨年より 3 時間増加し、年間で、66 時間となっております。年に 35 週と 1 週あたり、2 時間程度の配置となっております。

実際、スクールカウンセラーは他の勤務との兼ね合いもあり、小学校においては月 1・2 回にまとめて勤務する事が多く見られるのが現状です。

今後もきめ細やかに、相談体制の構築に努めてまいります。

【学びのサポーター・相談支援パートナー】

P T A)

「小学校にも、モデル校 20 校に相談支援パートナーを設置し、効果等を検証」とありますが、具体的にどれくらいの期間で検証を行っていくのでしょうか。次年度以降、モデル校を増やす予定はあるのでしょうか。

回 答)

小学校の相談支援パートナーモデル校の検証は、札幌市全体の計画となっており、今年度・来年度は 20 校となっておりますが、計画としては、令和 3 年度には 50 校となり、令和 4 年度は 100 校をモデル校として検証していきたいと考えております。

現在、不登校や、心配のある児童・生徒が 100 校となっており、その位のフレームで行って行きたいと思っております。

【教科書・教材に関して】

P T A)

子供たちのカバンの重さの軽減は、まだなされていない状況だと感じています。

「置き勉」だけでなく、他の対策などあればお聞かせください。

回 答)

学習用具の持ち運びについては、学校によって、様々な状況がございます。札幌市で一律する対応はいたしておりません。各学校がそれぞれの実状に応じて負担軽

減をすすめられるよう、こちらからも配慮をお願いしたり、引き続き各学校の現状を把握しながら進めてまいりたいと考えております。

【学校図書に関して】

P T A)

全市の中学校に専任司書を配置していただき、着実に学校図書館の充実に向かっていていると思います。小学校については、地域開放事業の運営の難しさを考えるとなかなか増やせるものではないと思っています。専任司書の配置が理想ではありますが、ボランティアの方でも、たくさん勉強されて、図書館運営において大きな役割を果たされている方もたくさんいます。その中で、多くの要望があることについて、現在の小学校の図書館運営の充実度はどの程度とお考えでしょうか。

回 答)

ボランティアさんや保護者の方々のご協力いただいている事にこの場をお借りしてお礼申し上げます。お陰様で昭和40年度から札幌市が長年に渡り開放図書館を開放いたしております。図書館数は昨年度119校となっております。充実度と言いますと小学校年間貸出数は1人30冊と小学生の読書好きの割合を調べたところ、全国平均よりも高い結果が出ております。大変大きな成果に繋がっていると認識しております。

【スキー学習・校外学習に関して】

P T A)

毎年の様に、各家庭の負担が大きいとの意見もあります。冬季の外国人観光客の増加に伴い、これまでとはスキー学習の置かれている状況も変わっているかと思えます。その辺りもふまえたご検討をお願いいたします。

回 答)

国が定めた学習指導要領においては、スキー等の自然とのかかわり深い活動や、学校や地域の実態に応じて積極的に行うことと記載されています。

生涯において、運動を楽しむ・たくましく成長していくようスキー学習を続けてきました。

今年度から改定いたしました札幌市振興基本計画において、札幌の自然環境等を生かす取り組みの推進を基本施策にしている事からスキー学習を含めた、ふるさと札幌の良さを実感する長き取り組みについては、引き続き検討させていただきたいと考えております。

【部活動に関して】

P T A)

外部コーチの登録等によって、充実した人材を確保し、それが指導の充実に繋がるとも考えますが、体制等、具体的に検討されていることはあるのでしょうか。

回 答)

外部人材の、活用について進めているところではあります。とりわけ教員がいなくても部活動の顧問となることができる、部活動指導員については毎年9名の教員経験者を配置しております。次年度より部活動指導員の任用の資格要件から、教員経験者をはずすとともに、文科系部活動にも対象を広げる事により部活動指導員を大幅に増員することを計画しております。

【いじめ・不登校に関して】

P T A)

不登校の児童・生徒の増加推移は実際にどのような状況でしょうか。それをふまえて、現状の体制で対応可能な環境にあるのでしょうか。

回 答)

不登校の児童者数の推移については札幌市も全国同様に増加傾向でございます。文部科学省の30年度のデータによりますと小学生は628名中学校は2007名となっており、合計2635名となっております。この数値は10年前の調査と比較しますと小学生が2.4倍、中学生が1.4倍の状況でございます。10年間の中で不登校の児童・生徒を支援する学校外の施設といたしまして教育支援センター及び、相談指導教室を設置しております。当初4カ所でしたが、6カ所に増やして対応してきました。現在も通室するお子さんは増加傾向にありますが、現在設置しております施設のキャパシティで対応可能と考えております。今後も利用するお子さん達のニーズを踏まえた施設運営に努めてまいります。子ども達が主体的に社会的自立や、学校へ行くように支援していくと考えております。

【幼稚園に関して】

P T A)

現在、在り方検討委員会で市立幼稚園の在り方について審議されていると思いますが方針はいつくらいを目処に出るのでしょうか。現場の高齢化を鑑みると、早期の採用再開を保護者としては期待しているのですが、いかがでしょうか。

回 答)

市立幼稚園の在り方に関しまして今年5月から検討委員会を立ち上げ、この会議の中に委員として川俣副会長にも入って頂きましてご意見を頂きまして本当にありがとうございました。市立幼稚園の正規職員採用がおこなわれていないとの事で、

先生が高齢化していることにつきましては、私達も市立幼稚園の在り方に関わる課題であると考えております。現在職員体制の在り方も含め、方針の作成を進めておりまして市役所内での関係部局との調整を進めております。今後は市民の皆様のご意見を頂くパブリックコメントを実施するなどいたしまして、来年3月をめどに方針を作成・公表する予定でございます。

【教育関連予算に関して】

P T A)

「にーごープロジェクト」「外国語」「プログラミング」等、授業が増えていく中で、大変難しい状況かとは思いますが、よろしくをお願いします。

回 答)

毎年財政の厳しい中、今年は市長の選挙の年もあり、次の事業費の確保のために、計上の事業費の一部を回すような取り組みをしております。教育委員会にいたしましては学校に対する予算については、今まで通りなんとか確保しようと要求させて頂いているところであります。また、公立中学校の設置や教育の情報化理想の充実や更なる充実をまだ予算編成の中で、予算とれましたよとはご報告は出来ませんが取り組んでおります。

【読書活動推進事業に関して】

P T A)

図書館に授業と関連した最新の情報が得られる辞典や資料、魅力的で好奇心をくすぐるような本が揃っていることが求められているとおもいます。そのような本を活用し、子どもたちと本をつなぐ役割を担ってくれるのが司書さんだと思います。充実を求める学校に行き渡るよう、今後とも予算の維持・増額をお願いします。

回 答)

学校図書館・地域開放事業につきましては、皆様にご協力頂いていることにお礼申し上げます。今年度は、新たに小学校2校が開設いたしまして合計で120校となりました。引き続き子どもに豊かな読書環境を提供出来るよう引き続き開設体制をとっていきたいと考えております。

【湯浅委員長より】

今年度も事前打ち合わせを始めとして、要望書の手交式、そして本日の回答書手交式・意見交換会と貴重なお時間をいただきありがとうございます。

毎年各家庭・各単Pを経由して上がってきたものを、総務委員会で精査をして要望書として毎年上げさせて頂いております。逆に市教委さんからの回答書を我々が出させて頂いた要望書とともに、今度は各家庭へ情報提供といった形でお伝えする事で教

育委員会さんがどのように考えているのか今後とも伝えていきたいと思っております。

本年は、札幌市教育振興基本計画の教育アクションプラン後期の初年度であり 2023 年度までの 5 年間で成果指標を目標値に近づけるべく様々な施策を行っていく事と思いますが、本日ご回答いただいた、要望の実現と併せて、私たち PTA が協力できることについてお話をお聞かせください。

回 答)

札幌市教育振興基本計画については、札幌市 PTA 協議会の皆様には様々な場面でご協力頂きましたことに、お礼申し上げます。現在は後期のアクションプランの取り組みを進めているところではありますが、札幌市教育ビジョンに掲げております自立した札幌人。こちらの実現に向けまして後期プランに位置づけた教育施策を確実に推進していくことはもちろん各学校における教育活動をより一層充実させるために、学校と家庭そして地域の皆様と協力し、一体となって子どもの成長を支える環境を作る事が欠かせないと考えております。札幌市 PTA 協議会の皆様におかれましては、未来の子ども達の成長の為に、今後とも様々な場面でご協力をお願いする事もあるかと思いますが、何卒お力添え頂けますようよろしくお願い致します。

【土田会長より】

本日は貴重なお時間頂きありがとうございます。又、令和 2 年度の要望書に対し回答・検討頂きお礼申し上げます。色々な無理・難題あるかと思いますが子ども達を思うばかりにこのような形にはなるのですが今回力強い回答も頂きました。中には、今後も検討事項はあるかと思いますが、引き続きよろしくお願い致します。そして今委員長からもお話ありましたが距離感に対しましては子どもと一緒に目線だと思っております。対ではないと思っておりますのでご検討お願いいたします。